

事務事業名	教育相談充実事業	担当	教育委員会 学校教育課 指導係
政策名	1 「人づくり」～豊かなこころアップ!～	施策名	2 心の教育と健やかな体づくり
成果指標	名称	単位	4 年度実績
	全児童生徒数に対する不登校児童生徒の割合	%	3.34
	スクールソーシャルワーカーが相談を受け、改善の見られた児童生徒数	人	42
	心理相談員による教育相談件数	件	695
事業概要	学校支援相談員、心理相談員及びスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒指導及び教育相談の充実を図る。 平成15年度まで、県の委託事業、平成16年度から市の単独事業として実施している学校支援相談員の配置（平成31年度までスクールカウンセラーの配置のない中学校2校、訪問回数のない小学校4校の計6校に5名配置、スクールカウンセラーが全中学校区に配置されたことにより令和3年度より小学校3校に5名配置） 平成20年度から臨床心理士の資格を持つ心理相談員の1名配置、令和元年度からは2名配置 令和元年度からスクールソーシャルワーカーの1名配置 平成6年度真岡市適応指導教室（もおかりブリー教室）を設置し、何らかの理由で学校に行けない、学校に行かない子どもに対して社会的な自立支援に取り組んでいる。		
4 年度実績・成果・課題	心理的な面が要因となっている相談には市心理相談員や学校支援相談員、教育相談員が、保護者との関係やなどの環境が要因となっている相談にはスクールソーシャルワーカーがそれぞれ対応件数が増加している。それに伴い、改善が見られた児童生徒数も増加している。しかしながら、不登校児童生徒が増え、全児童生徒に対するその割合も増えている。これらの児童生徒の中には、相談機関等に繋がっていない者がいるため、引き続き相談に繋がるよう働きかけていく。		
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 不登校の増加に伴い、適応指導教室への通級に繋がる児童生徒も増えている。相談機関に繋がらない児童生徒への手立てについては検討する余地がある。現在の指導体制を継続しつつ、新たな対応についても情報収集していく。		